

ウナギ及びイセエビの種苗生産技術の開発

【 1 2 9 (1 7 9) 百万円】

対策のポイント

ウナギ・イセエビの安定的な種苗生産技術の開発のため、ウナギ良質卵の生産技術を開発するとともに、ウナギ及びイセエビの幼生を正常に育成するための餌料・環境条件の解明を実施します。

(ウナギ・イセエビについて)

我が国のウナギ生産量の97%が養殖によりますが、その種苗であるシラスウナギは100%を天然に依存しています。また、イセエビについても全て天然資源の漁獲によるものです。

政策目標

ウナギ及びイセエビの水産資源の確保と水産経営の安定化

< 内容 >

1. 良質卵生産のための判別技術及び親魚の催熟技術の開発

ウナギの良質な卵の判別方法を開発するとともに、良質な卵が得られる親魚の催熟条件を解明します。

2. 幼生の正常な育成のための最適餌料の開発

ウナギ・イセエビ幼生の消化管内容物のDNA判別により幼生の餌を解明し、生残率向上のための最適な餌料を明らかにします。

3. 幼生の生残率に及ぼす飼育環境の影響解明及び最適化

水質、物理環境等の環境要因がウナギ・イセエビ幼生の生残率に及ぼす影響を解明し、最適な飼育環境の条件を明らかにします。

< 実施主体等 >

実施主体 独立行政法人、都道府県、大学、民間等

実施期間 平成17年度～平成20年度

[担当課：農林水産技術会議事務局研究開発課(03-3502-0536(直))]

